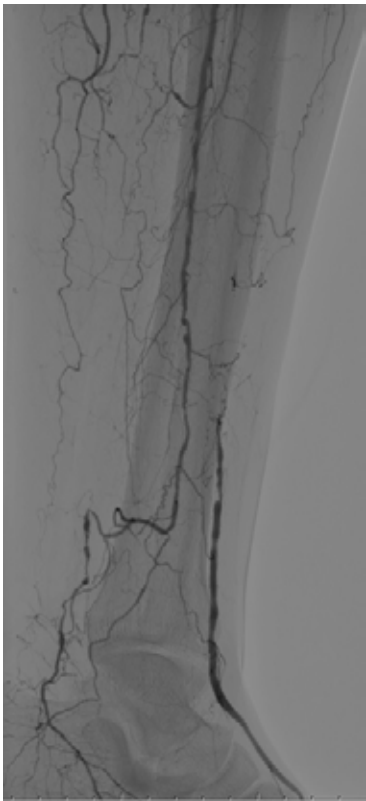


# 経皮的血管形成術 (PTA: percutaneous transluminal angioplasty)

動脈硬化などで狭くなったり、塞がったりした時の治療です。血管の中に細い管を入れて病変部を通過させます。この管には小さな風船が折畳まれていて、これを広げる事で血管を内側から押し広げます。場合により治療した場所に金属製のステントを留置することもあります。主に足の動脈の治療が多いですが、頸動脈 (CAS のファイルを参照ください) 腎動脈、鎖骨下動脈など全身の血管が対象です。静脈が細い場合も治療する事があります。



## PAD (ASO) チーム

治療では血流を治すだけでなく、皮膚の状態、傷の治癒も合わせて行う必要があります。また腎臓に問題があるケースも少なくありません。当院では放射線科、心臓血管外科、腎臓内科、皮膚科、形成外科、整形外科が合同カンファレンスを行い様々な症例を検討しています。血流が悪い場合の治療も PTA、バイパス手術、薬物療法、LDLアフェレーシス、末梢血幹細胞など種々の方法を検討してから治療に当たっています。

## BK (膝下) 領域の治療

当院では膝下や足関節以下の病変に対しても積極的に治療を行っています。心臓血管外科と相談し、PTA や distal bypass あるいはその併用など個々のケースに応じて治療しています。左の写真は膝下領域の内の1本が完全閉塞していたケースです。PTAにより再開通しています。

## こんな時は受診しましょう

- ・歩いていると足が痛くなるが、立ち止まって少し休むと痛みがとれる。しかしまた少し歩くと痛くなって休む。
  - ・足の傷が治りにくい。
  - ・足先がしびれたり痛む など
- 傷がある場合は当院皮膚科を、無い場合は心臓血管外科を受診して下さい